

資料 2



EXPO 2027 YOKOHAMA JAPAN

サステナビリティ教育計画の 方向性について

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

- AIPH（国際園芸家協会）の規則等の要求事項等に基づき、サステナビリティ教育に関するアクションの実施計画や評価等を定めた「サステナビリティ教育計画」を2025年3月までに策定予定。

AIPH要求事項		目次案		記載の方向性
目的		1 はじめに		教育計画の目的を設定し、園芸博の準備、開催運営等を通じ、すべてのステークホルダーに対して、サステナビリティに関する意識向上や学習を促進する
実施計画	アクション ガントチャート	2 実施計画	2.1 アクション 2.2 ガントチャート	サステナビリティ実施計画に記載した目標・アクションのうち、サステナビリティ教育に関する目標・アクションと、追加的なアクションについて、表で実施計画等を記載する
評価		3 評価		「2 実施計画」に記載したアクションのうち、実施したアクションを整理し、表で評価等を記載する

AIPH要求事項に対する記載の方向性（1 はじめに）

- AIPH要求事項等をもとに、**教育計画の目的等**を記載します。

AIPH要求事項		項目案	記載の方向性
目的	<ul style="list-style-type: none">• 教育計画の目的• 園芸博のすべてのステークホルダー、特に以下の対象者に対するサステナビリティ教育の実施 来場者、建設・施設管理者、国内外のスタッフ、ボランティア	1 はじめに	<ul style="list-style-type: none">• 教育計画の目的： 園芸博の準備、開催運営等を通じ、すべてのステークホルダーに対して、サステナビリティに関する意識向上や学習を促進する• 各ステークホルダーに対する、サステナビリティ教育の内容を整理する

AIPH要求事項に対する記載の方向性（2 実施計画）

- AIPH要求事項等をもとに、**アクションの実実施計画等**を記載します。

	AIPH要求事項	項目案	記載の方向性
アクション	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ実施計画に記載した目標・アクションのうち、サステナビリティ教育に関する目標・アクションと、追加的なアクションについて、以下の内容を含む表 <p>実施目的、責任者、方法、メッセージ、対象者、対象人数、タイムライン（頻度・時期）</p>	2.1 アクション	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ実施計画に記載した目標・アクションのうち、サステナビリティ教育に関するアクションを抽出し、表で実施計画等を記載する 追加的に実施するアクションを整理し、表で実施計画等を記載する <p>（記載を検討中のアクションの事例）</p> <ul style="list-style-type: none"> 調達コードの策定・運用 県立農業高校との共創プロジェクト「GREEN LEADERSHIP CLUB」 大学共創フォーラムの開催
ガントチャート	<ul style="list-style-type: none"> 各アクションの実実施スケジュールのガントチャート 	2.2 ガントチャート	<ul style="list-style-type: none"> 各アクションの実実施スケジュールをガントチャート等で整理する

AIPH要求事項に対する記載の方向性（3 評価）

- AIPH要求事項等をもとに、**実施したアクションの評価等**を記載します。

AIPH要求事項		項目案	記載の方向性
評価	<ul style="list-style-type: none">実施した各アクションの以下の内容を含む表 日程、実施人数、振り返り（良い点、改善点）	3 評価	<ul style="list-style-type: none">「2 実施計画」に記載したアクションのうち、 実施したアクションを整理し、 表で評価等を記載する

- **サステナビリティ教育計画**には、以下のような**取組の記載を想定**。
教育計画の作成に向け、**追加で記載する複数のアクションを検討**。
 - 持続可能性に配慮した調達コードの策定・運用
 - 県立農業高校との共創プロジェクト「GREEN LEADERSHIP CLUB」
 - 大学共創フォーラムの開催

【事例】 持続可能性に配慮した調達コードの策定・運用

- 協会や出展者等が、物品・サービスの調達や工事の実施等に当たって遵守する「**持続可能性に配慮した調達コード**」を2024年1月に策定。
- 東京オリパラ、大阪・関西万博では、**5つの共通基準、6つの物品別の個別基準を設定**しており、本園芸博においても重要な内容のため、先行事例に準じて策定。
- また、物品別の個別基準には、**新たにGREEN×EXPO 2027ならではの「7 植物」を設定**。

項目	GREEN×EXPO 2027の調達コードの構成
持続可能性に関する基準 (共通基準)	全ての物品・サービス・工事等に共通して適用される 5つの共通基準を設定 1 全般、2 環境、3 人権、4 労働、5 経済
物品別の個別基準	重要な物品・サービス・工事等については、 7つの物品別の個別基準を設定 1 木材、2 紙、3 農産物、4 畜産物、5 水産物、6 パーム油、7 植物

- 神奈川県立の農業高校5校の生徒計49名による、未来のための共創プロジェクト。
- 花や緑、農・食の未来を牽引する次世代のリーダーの育成を目指し、園芸博を学び、積極的に参加できる場として活動を実施。
- 2024年6月17日に、博覧会協会でプレゼン発表会を開催。



【事例】 大学共創フォーラムの開催

【趣旨】 本博覧会の目指すビジョンや共創の姿を
全国の大学関係者と共有し、**出展等の大学の参加・連携、
学生の参加等**について、ご理解いただく機会として開催。

【開催概要】

- **日程：2024年5月31日、6月5日の2回**
- 開催方法：オンライン開催
- **参加申込数：29大学**
- **参加者数：48名**
- 内容：園芸博の開催概要や出展等について説明し、質疑応答